

整理番号	7	作成日	平成 18 年 6 月 20 日
事業名	密集住宅市街地整備促進事業（南小岩七・八丁目地区）		
所属名	都市開発部 地域整備第一課 事業調整係	電話番号	(03)5662-0895

《事業の目的及び概要》 **《事業の開始年度》** 平成13年度

老朽木造住宅が密集し、道路・公園等の公共施設が著しく不足している住宅密集地区において、道路の拡幅整備や公園等のオープンスペースの確保や良質な住宅の供給により、地区の安全性や防災性の向上を図り、快適な住環境づくりを進めます。
計画を進めるためには、地域の皆様の合意をえることが重要です。

〔概要〕
 整備期間：平成13年度～平成22年度（10年間）
 南小岩七・八丁目地区面積：40ha
 道路整備計画：3,110㎡
 公園整備計画：4,000㎡

【4月1日現在】 事業区域内の人口

対象者 7,796人

活動指標	活動指標 → 道路整備面積	活動指標 → 公園整備面積
	17年度末 478.96㎡ (16年度末) 168.77㎡	17年度末 2,341.65㎡ (16年度末) 2341.65㎡

成果・目標指標	成果・目標指標 → 防災空間の確保（道路）	成果・目標指標 → 防災空間の確保（公園）
	17年度 478.96㎡ (15.4%) 20年度目標 1,411.96㎡ (45.4%)	17年度 2,341.65㎡ (58.5%) 20年度目標 3,541.65㎡ (88.5%)
17年度実績に、道路整備計画（3/10年間）を加算した数値を目標としました。 整備率 = 道路整備済面積 / 道路整備計画面積		17年度実績に、公園整備計画（3/10年間）を加算した数値を目標としました。 整備率 = 公園整備済面積 / 公園整備計画面積

経費の概要

17年度 事業実施経費 238,041千円

地区面積1㎡あたり 595円
40ha = 400,000㎡

【人件費と担当職員数】

ア 常勤職員	2.5人
イ 非常勤職員	0.0人
ウ 臨時職員	0.0人

20,815千円

経費の説明

道路・公園用地の買収は土地所有者の方々との話し合いにより進められるため、年度により変動します。
 〔主な経費の内訳〕
 用地取得費 76,990千円、
 補償・通損費 102,824千円
 用地測量費等 8,675千円、
 整備費 28,737千円
 上記経費のうち補助金による歳入 160,212千円（国庫補助金 106,808千円、都補助金 53,404千円）

《実施の根拠となる法令等》
 密集市街地における防災街区の整備の促進に関する法律（密集市街地整備法）
 住宅市街地総合整備事業制度要綱

《民間委託やボランティアなどとの協働の状況》

《その他の地区》
 一之江駅付近地区、松島三丁目地区、一之江四丁目南地区、下鎌田東地区、春江町三丁目南地区、江戸川一丁目地区

平成18年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	7	事業名	密集住宅市街地整備促進事業(南小岩七・八丁目地区)
		所属名	都市開発部 地域整備第一課 事業調整係

所管課長評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。	5					
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。		4				
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		4				
4	成果が上がっている。		4				
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。		4				
6	受益者負担の額は適切である。						*非該当
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。		4				
8	民間事業者への委託等の可能性がある。		4				
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。		4				
10	経費を削減できる可能性がある。			3			

所管部長の意見等

密集市街地の改善は、安全で安心して暮らすことができる市街地づくりのために、重要な事業である。本事業は行政が取り組むべき道路や公園の生活基盤整備と、住民自身が進んでゆくべき建物更新の組み合わせによって行っているが、事業の進捗に時間がかかる傾向にある。行政の取り組むべき事業については、費用対効果の観点からも早期目標に向けて努力していきたい。

平成18年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	7	事業名	密集住宅市街地整備促進事業（南小岩七・八丁目地区）
-------------	---	------------	---------------------------

所属名	都市開発部 地域整備第一課 事業調整係
------------	---------------------

外部評価委員評価

そう思う そう思わない

	評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
	【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。	5						
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。	4						
	【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。	5						
4	成果が上がっている。	4						
	【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。	4						
6	受益者負担の額は適切である。							*非該当
	【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。				3			
8	民間事業者への委託等の可能性がある。				3			
	【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。	4						
10	経費を削減できる可能性がある。	4						

外部評価委員の意見

計画を進めるには、年月を要するが、安全、防災、住みやすさなど考慮しつつ、整備をしてほしい。
 この事業だけに適用させることはできないが、4m道路確保のために、条例等で規制をして、リフォームなどをセットバックの対象とすることはできないか。
 建替えが進むよう、住居づくり・まちづくり協力員（建築設計事務所、工務店など）との連携に期待する。

評価欄の数字は、各項目の評価点です。